

三朝町立学校教育施設個別施設計画

令和2年3月

三朝町教育委員会事務局教育総務課

目 次

1	基本事項	
(1)	計画の目的と位置づけ	1
(2)	計画期間	2
(3)	対象施設	2
2	施設の現況及び将来の見通し	
(1)	保有状況	2
(2)	耐震診断の実施状況	5
(3)	利用状況	6
(4)	利用状況の見通し	8
(5)	管理運営状況	11
3	再編に関する事項	
(1)	方向性の検討	12
4	保全・更新等に関する事項	
(1)	保全・更新等費用の見通し	13
(2)	方針とスケジュール	20
5	公共施設等マネジメントによる効果	
(1)	保有量	22
(2)	保全・更新等費用	22
(3)	管理運営費等	22
6	フォローアップ	
(1)	実施方針	23

※ 本計画書中に記載している表の数値は、端数の関係で数値の合計が合わない場合がある。

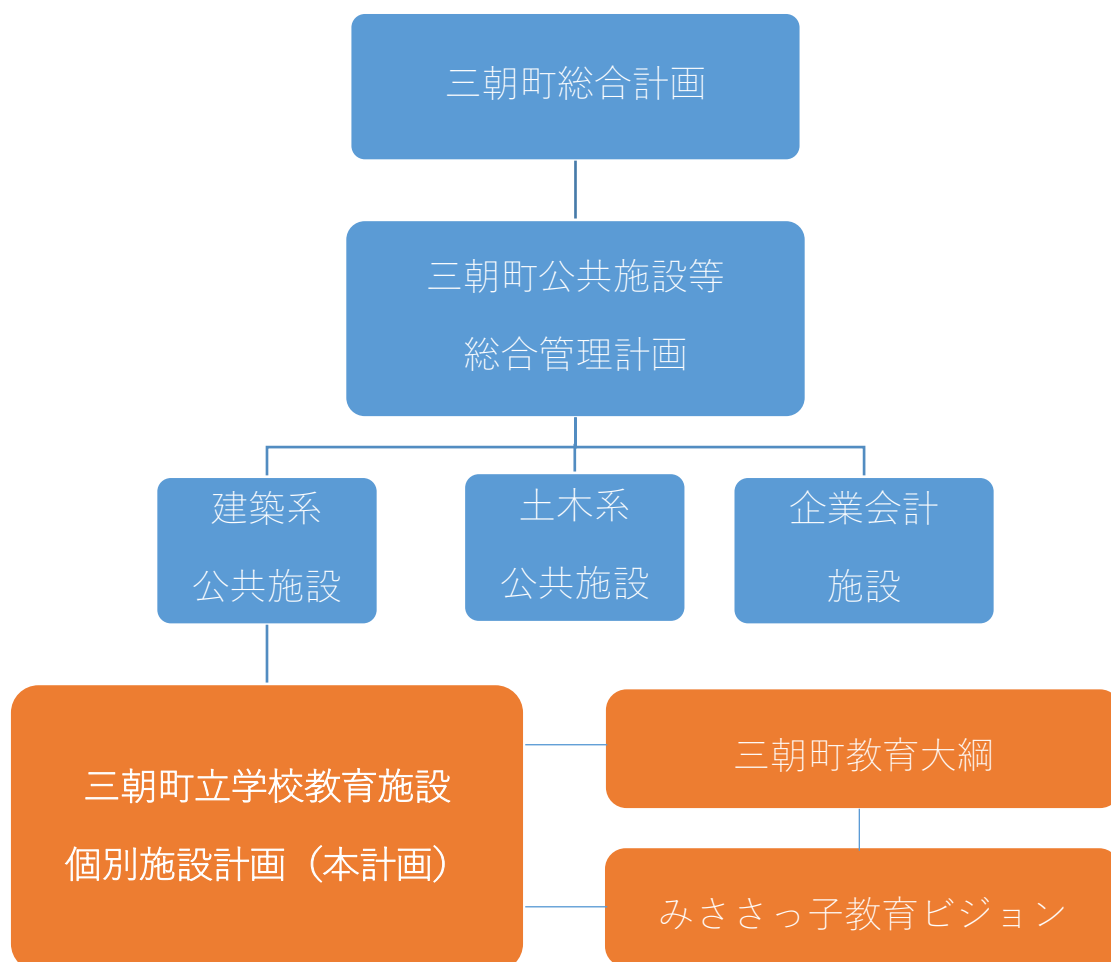
1 基本事項

(1) 計画の目的と位置づけ

本町の学校施設は昭和 40 年（1965 年）前後に整備されたものが多く、急速に老朽化が進む一方、新学習指導要領等に基づく多様な学習内容や形態に対応した高機能かつ多機能な施設環境の整備に加え、防災対策、バリアフリー化、普通教室やトイレ等、こどもたちの学習・生活空間の快適化、環境負荷の低減等のさまざまな配慮が求められています。

その中で、本町における保有施設にあっては、児童・生徒数の減少及び、厳しい財政状況を踏まえた効率的な運営と、計画的な整備による改修費等の抑制を図りつつ、これらに対応していく必要があります。

本計画は、平成 28 年（2016 年）1 月に策定した「三朝町公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」という。）に基づき、学校教育施設の老朽化問題に対応し、財政負担の軽減・平準化を目指していくため、施設マネジメント（保有する学校教育施設を有効活用しつつ、施設保有量の見直しや、計画的な保全、整備による施設の長寿命化を図るための取り組み）を推進していくため、学校教育施設に係る個別施設ごとの具体的な対応方針を示したものです。



(2) 計画期間

対象となる施設の耐用年数及び中長期的な財政負担の軽減・平準化を目指すことを踏まえ、将来推計に基づき本計画の計画期間は、令和 41 年度（2059 年度）までの 40 年間とします。

なお、令和 11 年度（2029 年度）までの 10 年間で第 1 期計画期間とし、計画の見直しは原則、計画期間の中間となる 5 年目に行うこととし、本町を取り巻く社会経済情勢の変化等に対応するため、必要に応じて適宜見直しを行うこととします。

(3) 対象施設

対象施設本計画の対象施設は、総合管理計画における建築系公共施設のうち、「1. 学校教育系施設（7 施設）」とします。

2 施設の現況及び将来の見通し

(1) 保有状況

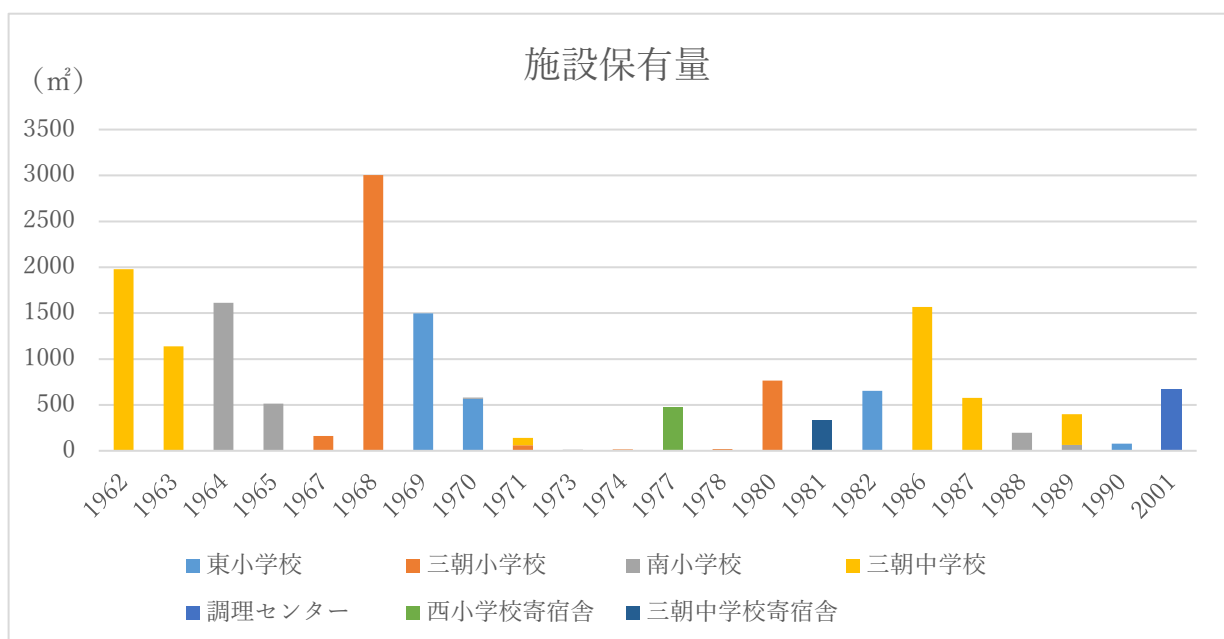
平成 30 年度（2018 年度）末現在の施設の保有状況は以下のとおりです。

施設名称		延べ床面積	建築年	耐用年数	経過年数	大規模改修	建替想定時期
東小学校	物置	12 m ²	昭和 44 年 (1969 年)	34 年	51 年		令和 11 年 (2029 年)
	校舎・玄関	1,487 m ²	昭和 44 年 (1969 年)	47 年	51 年	平成 3 年 (1991 年)	令和 11 年 (2029 年)
	物置・渡り廊下	16 m ²	昭和 45 年 (1970 年)	31 年	50 年		令和 12 年 (2030 年)
	体育館	550 m ²	昭和 45 年 (1970 年)	34 年	50 年		令和 12 年 (2030 年)
	校舎	653 m ²	昭和 57 年 (1982 年)	47 年	38 年		令和 24 年 (2042 年)
	機械室	18 m ²	平成 2 年 (1990 年)	34 年	30 年		令和 32 年 (2050 年)
	便所・更衣室・管理室	59 m ²	平成 2 年 (1990 年)	38 年	30 年		令和 32 年 (2050 年)
	合計	2,795 m ²					

三朝小学校 ※	校舎	2,289 m ²	昭和 43 年 (1968 年)	47 年	52 年	昭和 62 年 (1987 年)	令和 10 年 (2028 年)
	更衣室	20 m ²	昭和 53 年 (1978 年)	47 年	42 年		令和 20 年 (2038 年)
	児童昇降口及 び渡り廊下	162 m ²	昭和 42 年 (1967 年)	34 年	53 年	昭和 62 年 (1987 年)	令和 9 年 (2027 年)
	体育館	716 m ²	昭和 43 年 (1968 年)	34 年	52 年		令和 10 年 (2028 年)
	倉庫	26 m ²	昭和 46 年 (1971 年)	15 年	49 年		令和 13 年 (2031 年)
	便所	12 m ²	昭和 46 年 (1971 年)	47 年	49 年		令和 13 年 (2031 年)
	機械室及び 器具室	24 m ²	昭和 46 年 (1971 年)	38 年	49 年		令和 13 年 (2031 年)
	校舎	765 m ²	昭和 55 年 (1980 年)	47 年	40 年		令和 22 年 (2040 年)
	倉庫	16 m ²	昭和 49 年 (1974 年)	38 年	46 年		令和 16 年 (2034 年)
	合 計	4,030 m ²					
南小学校	校舎	1,553 m ²	昭和 39 年 (1964 年)	47 年	56 年	昭和 63 年 (1988 年)	令和 6 年 (2024 年)
	校舎	198 m ²	昭和 63 年 (1988 年)	47 年	32 年		令和 30 年 (2048 年)
	児童昇降口	61 m ²	昭和 39 年 (1964 年)	34 年	56 年	昭和 63 年 (1988 年)	令和 6 年 (2024 年)
	屋内運動場	515 m ²	昭和 40 年 (1965 年)	34 年	55 年	昭和 63 年 (1988 年)	令和 7 年 (2025 年)
	倉庫	15 m ²	昭和 45 年 (1970 年)	15 年	50 年		令和 12 年 (2030 年)
	倉庫	12 m ²	昭和 48 年 (1973 年)	15 年	47 年		令和 15 年 (2033 年)
	部室	65 m ²	平成元年 (1989 年)	17 年	31 年		令和 31 年 (2049 年)
	合 計	2,419 m ²					

三朝中学校	普通教室	1,978 m ²	昭和 37 年 (1962 年)	47 年	58 年	昭和 61 年	令和 4 年 (2022 年)
	管理室及び 特別教室	1,545 m ²	昭和 61 年 (1986 年)	47 年	34 年		令和 28 年 (2046 年)
	屋内運動場	1,138 m ²	昭和 38 年 (1963 年)	34 年	57 年		令和 5 年 (2023 年)
	特別教室	578 m ²	昭和 62 年 (1987 年)	47 年	33 年		令和 29 年 (2047 年)
	倉庫	80 m ²	昭和 46 年 (1971 年)	15 年	49 年		令和 13 年 (2031 年)
	給食車車庫	21 m ²	昭和 61 年 (1986 年)	38 年	34 年		令和 28 年 (2046 年)
	部室	333 m ²	平成元年 (1989 年)	47 年	31 年		令和 31 年 (2049 年)
	合 計	5,673 m ²					
調理 センター	673 m ²	平成 13 年 (2001 年)	31 年	19 年		令和 43 年 (2061 年)	
西小学校 寄宿舍	475 m ²	昭和 52 年 (1977 年)	47 年	43 年		令和 19 年 (2037 年)	
三朝中学校 寄宿舍	335 m ²	昭和 56 年 (1981 年)	47 年	39 年		令和 23 年 (2041 年)	

※ 本計画策定時点の名称であり、総合管理計画における名称は西小学校（以下同様）。



(2) 耐震診断の実施状況

平成 30 年度（2018 年度）末現在の実施状況は以下のとおりです。

施設名称	耐震基準	診断状況	診断年度	改修状況
東小学校	旧耐震基準	R 造の第二次 及び第三次診 断	平成 20 年度 (2008 年度)	改修済み
西小学校	旧耐震基準	R 造の第二次 及び第三次診 断	平成 20 年度 (2008 年度)	改修済み
南小学校	旧耐震基準	R 造の第二次 及び第三次診 断	平成 20 年度 (2008 年度)	改修済み
三朝中学校	旧耐震基準	R 造の第二次 及び第三次診 断	平成 18 年度 (2006 年度)	改修済み
調理センター				診断対象外
西小学校 寄宿舍				未実施
三朝中学校 寄宿舍				未実施

(3) 利用状況

平成 28 年度（2016 年度）から平成 30 年度（2018 年度）の 3 年間における利用状況は以下のとおりです。

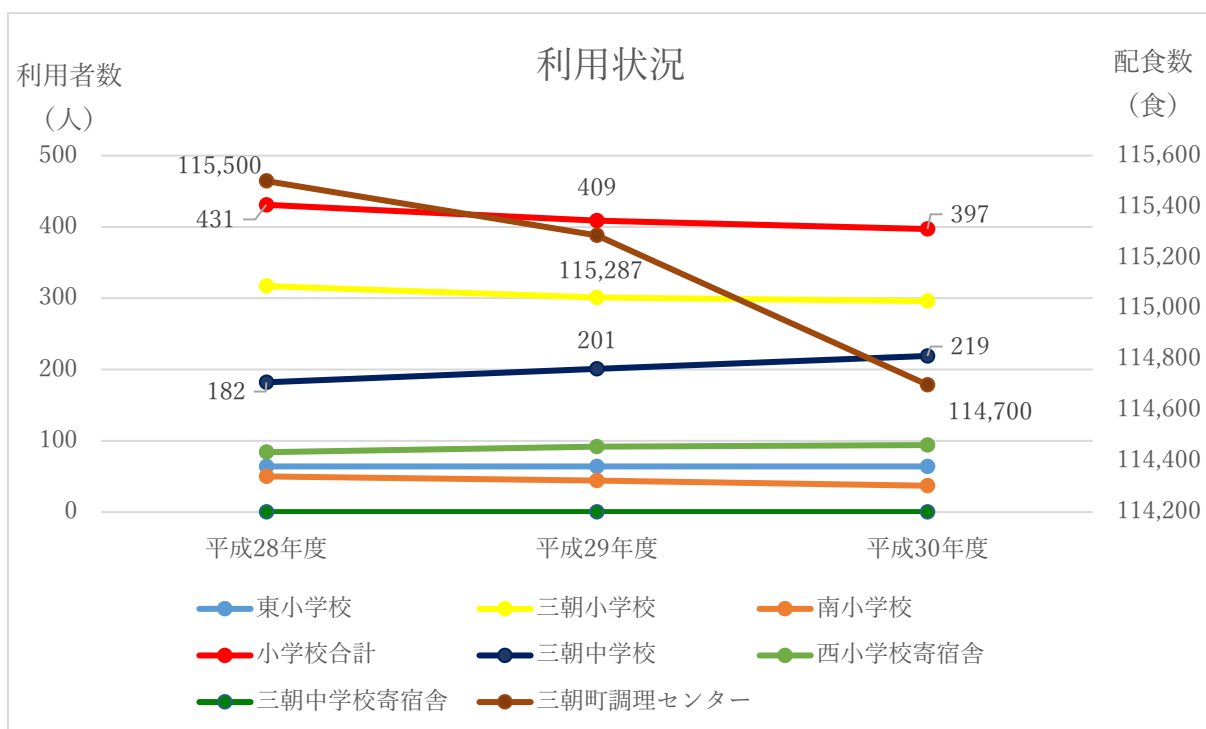
施設名	指標種別	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
			対前年 比		対前年 比		対前年 比
東小学校	児童数 (人)	42	▲3	44	2	43	▲1
	職員数 (人)	22	3	20	▲2	21	1
	合計 利用者数	64	0	64	0	64	0
三朝 小学校	児童数 (人)	280	▲19	265	▲15	258	▲7
	職員数 (人)	37	2	36	▲1	38	2
	合計 利用者数	317	▲17	301	▲16	296	▲5
南小学校	児童数 (人)	30	6	24	▲6	17	▲7
	職員数 (人)	20	0	20	0	20	0
	合計 利用者数	50	6	44	▲6	37	▲7
三朝 中学校	児童数 (人)	150	▲7	170	20	186	16
	職員数 (人)	32	▲1	31	▲1	33	2
	合計 利用者数	182	▲8	201	19	219	18
調理 センター ※1	配食数 (食)	115,500	▲3,912	115,287	▲213	114,700	▲587

西小学校 寄宿舎 ※2	利用者数 (人)	75	▲4	83	8	85	2
	職員数 (人)	9	0	9	0	9	0
	合計 利用者数	84	▲4	92	8	94	2
三朝中学 校寄宿舎 ※3	利用者数 (人)	-	-	-	-	-	-
	職員数 (人)	-	-	-	-	-	-

※1 合計利用者数×各校給食日数

※2 寄宿舎としての利用実績なし。学童登録人数を記載。

※3 利用実績なし。



(4) 今後の見通し

直近3年間の利用状況はほぼ横ばいだが、三朝町まち・ひと・しごと創生総合戦略における「三朝町の将来人口展望と目指すべき方向」では、平成27年

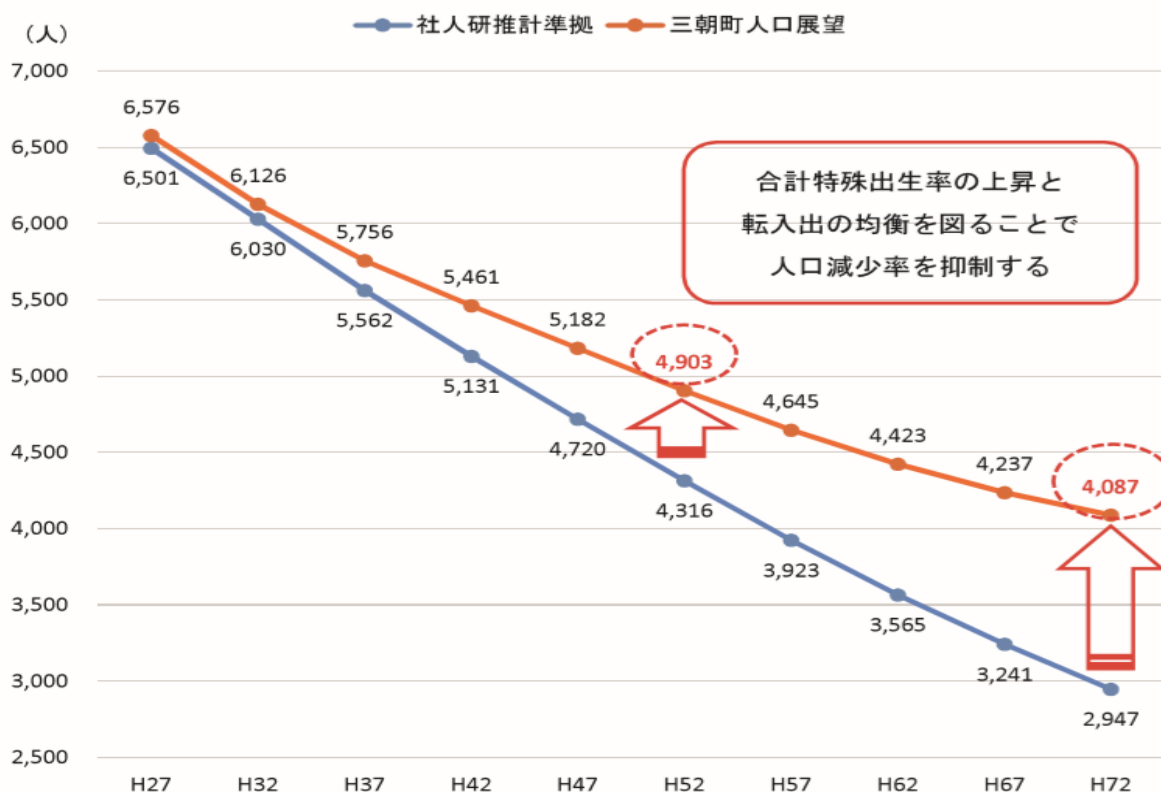
(2015年)に対し平成52年(2040年)時点の年少人口(14歳以下)は、社人研推計準拠(以下、社人研)と三朝町人口展望(以下、人口展望)いずれも減少すると示されているため、各施設の利用者数の増加は見込みません。また、ここでは社人研をベースに、人口展望を上限值として各推計を算出します。

ただし、令和元年度(2019年度)の小学校統合による東小学校及び南小学校の廃校に伴い、両校の利用者数は0人、町内全ての小学生は三朝小学校の利用者となる点に留意する必要があります。

人口推計(三朝町まち・ひと・しごと創生総合戦略より抜粋)

(人)

	H27	H32	H37	H42	H47	H52	H57	H62	H67	H72
社人研推計準拠	6,501	6,030	5,562	5,131	4,720	4,316	3,923	3,565	3,241	2,947
年少人口	766	684	593	532	488	455	419	385	349	315
生産年齢人口	3,384	2,986	2,671	2,424	2,243	2,006	1,796	1,627	1,508	1,399
高齢人口	2,351	2,360	2,298	2,175	1,989	1,855	1,708	1,553	1,384	1,233
三朝町人口展望	6,576	6,126	5,756	5,461	5,182	4,903	4,645	4,423	4,237	4,087
年少人口	764	683	617	631	656	666	656	660	652	636



敷地面積及び児童生徒数並びに人口推計からみる構成比（平成 27 年 5 月時点）

施設名	敷地面積	児童生徒数	人口展望比	社人研比
東小学校	2,795	45 人	-	-
西小学校	4,030	299 人	-	-
南小学校	2,419	24 人	-	-
合計	9,244	368 人	48.2%	48%
三朝中学校	5,673	157 人	20.6%	20.5%

構成比からみる児童生徒数及び必要な最低敷地面積（校舎＋運動場）の推計

		区 分	H27※1 (2015 年)	H32※1 (2020 年)	H42※1 (2030 年)	H52※1 (2040 年)		
人口 展望 ベース	児童生徒数	小	368 人	329 人	304 人	321 人		
	(年少人口×構成比)※2	中	157 人	140 人	129 人	137 人		
	必要最低敷地面積 (小中学校設置基準)	小	5,820 m ²	5,235 m ²	4,860 m ²	5,115 m ²		
		中	4,072 m ²	3,800 m ²	3,624 m ²	3,752 m ²		
		合計	9,892 m ²	9,035 m ²	8,484 m ²	8,867 m ²		
社人 研 ベース	児童生徒数	小	368 人	328 人	255 人	218 人		
	(年少人口×構成比)※2	中	157 人	140 人	109 人	93 人		
	必要最低敷地面積 (小中学校設置基準)	小	5,820 m ²	5,220 m ²	4,125 m ²	3,570 m ²		
		中	4,072 m ²	3,800 m ²	3,304 m ²	3,048 m ²		
		合計	9,892 m ²	9,020 m ²	7,429 m ²	6,618 m ²		
実際の敷地面積		小		4,030 m ²	最低敷地面積比：0.77			
		中		5,673 m ²	最低敷地面積比：1.49			
想定面積		小		6,208 m ² ※3	必要最低敷地面積比：1.19			
		中		4,525 m ²	必要最低敷地面積比：1.19			
		合計1		10,733 m ²	必要最低敷地面積比：1.19			
		合計2	必要最低敷地面積比：1.19				10,551 m ² ※4	
			必要最低敷地面積比：1.19				7,875 m ² ※5	
		中	H52 時点の想定面積(合計)－想定面積(小)				1,667 m ²	

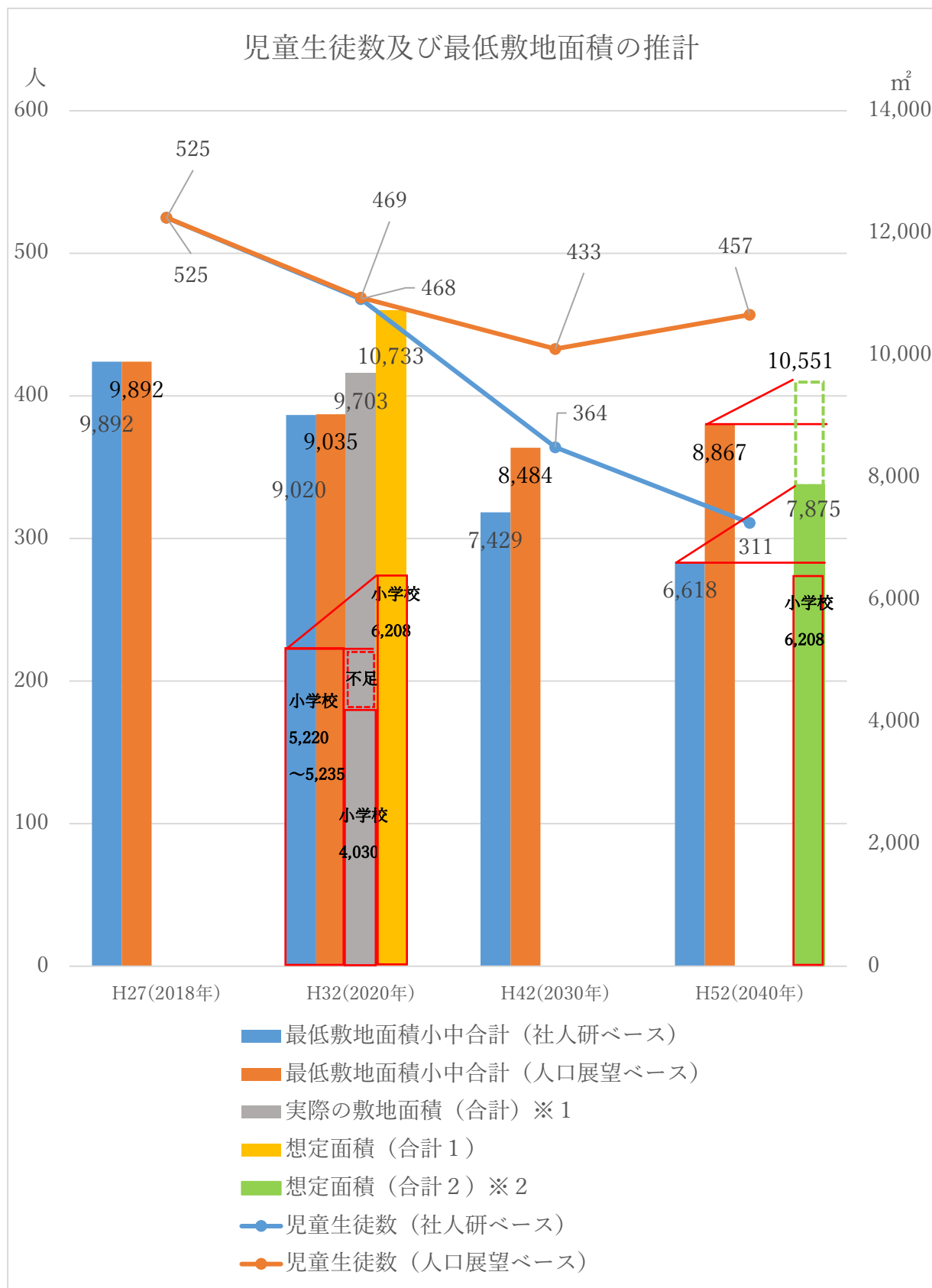
※1 人口推計と比較するため元号は平成で記載。

※2 H27 数値は実数。

※3 実施設計面積

※4 人口展望ベースで、想定面積(小)の必要最低面積比から算出。

※5 社人研ベースで、想定面積(小)の必要最低面積比から算出。



※1 小学校単独では、最低敷地面積を下回っている点に留意。

※2 人口展望ベース、社人研ベースの振れ幅に留意。

(5) 管理運営の状況

① 管理運営方式

管理運営方式の状況は以下のとおりです。

方式区分		施設数
公設公営	直営方式	7 施設
公設民営	指定管理者方式	0 施設

② 管理運営費

平成 28 年度（2016 年度）から平成 30 年度（2018 年度）の 3 年間における管理運営費は以下のとおりです。

(円)

施設名	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平均
	歳出		歳出	
	㎡あたり	㎡あたり	㎡あたり	㎡あたり
東小学校	5,247,339 1,877	6,674,806 2,388	5,287,485 1,892	5,736,543 2,052
西小学校	6,488,420 1,610	9,486,022 2,354	20,647,898 5,124	12,207,447 3,029
南小学校	4,264,177 1,763	6,412,855 2,651	4,841,064 2,001	5,172,699 2,138
三朝中学校	7,636,565 1,346	13,748,568 2,424	10,454,855 1,843	10,613,329 1,871
調理 センター	9,555,186 14,198	8,873,546 13,185	9,077,300 13,488	9,168,677 13,624
西小学 校寄宿舎	905,875 1,907	792,732 1,669	882,689 1,858	860,432 1,811
三朝中学校 寄宿舎	52,080 -	52,080 -	52,080 -	52,080 -
合計	34,149,642 22,701	46,040,608 24,670	51,243,371 26,206	43,811,207 24,526

3 再編に関する事項

(1) 方向性の検討

総合管理計画における施設評価を基本とし、直近の情勢を鑑み以下のとおり整理することとします。

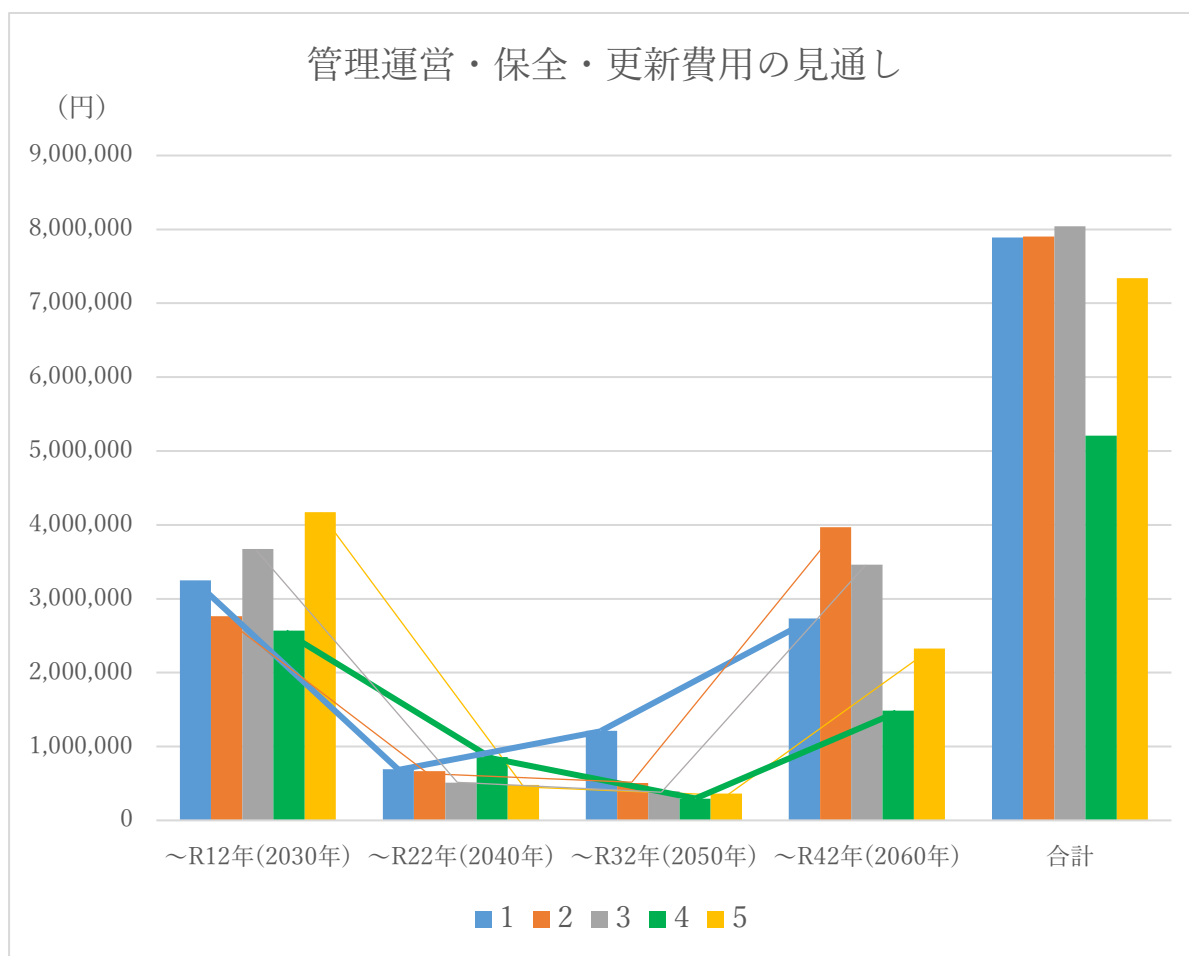
分 類	考え方
小学校	<p>【東小学校及び南小学校について】 統合により既に廃校となっており、学校施設としての役割を終えている。 今後は町の普通財産として維持管理、利活用等の方法について総合的に検討を行い、必要に応じて連携を図る。</p> <p>【三朝小学校について】 以下の点から、将来的な物理的小中連携校としての運営も念頭に、今後より一層、中学校との連携強化を図る。</p> <p>① 統合による一時的な施設利用者の増加・維持が見込まれるが、推計から施設利用者である年少人口の減少が予想される。 ② 町内の小中学校は1校ずつであり、地理的立地も近い。</p>
中学校	<p>以下の点から、将来的な物理的小中連携校としての運営も念頭に、今後より一層、小学校との連携強化を図る。</p> <p>① 推計から施設利用者である年少人口の減少が予想される。 ② 町内の小中学校は1校ずつであり、地理的立地も近い。</p>
調理センター	<p>食育や地産地消等、調理センターの役割は大きく、既存の施設を今後も単独維持できるよう、効率化を図りつつ安定運営に努める。</p>
寄宿舎	<p>以下の点から、三朝小学校の整備と併せ、両施設の統合、廃止も視野に一体的な整備を検討する。</p> <p>① 総合管理計画において、西小学校寄宿舎は「改修を検討する」、中学校寄宿舎は「施設の必要性、在り方から見直す」とされ、両施設共に建物性能が低いという判断がされている。</p> <p>② 同一敷地内に存在する2つの寄宿舎は、現在寄宿舎としての利用はなく、西小学校寄宿舎のみ学童保育施設として利用されており、小学校統合に伴う学童保育施設としてのニーズが一層高まっている。</p>

4 保全更新等に関する事項

(1) 管理運営・保全・更新費用の見通し

今後 40 年間の管理運営・保全・更新費用の見通しについて、以下のとおり、それぞれ条件を設定し、5つのシミュレーションを実施しました。

なお、基本的な更新の考え方及び単価は、それぞれ総務省が公開する「公共施設及びインフラ資産の将来の更新費用の比較分析に関する調査結果」と同様とし、想定される管理運営費との合計を示します。※



- ※
- 【更新の考え方】 大規模改修 = 建築から 30 年 建替 = 建築から 60 年
 - 【大規模改修】 建物附属設備（電気設備、昇降機設備等）及び配管の耐用年数が概ね 15 年であることから、2 回目の改修である建設後 30 年で建築物の大規模改修を行うことを想定。
 - 【建替】 解体、仮移転費用、設計料等については含むものとして想定
 - 【単価】 大規模改修 = 17 万円/m² 建替 = 33 万円/m²
 - 【管理運営費】 建替後の管理運営費は、建替前施設に係る管理運営費から算出。（千円未満の端数調整あり）

シミュレーション条件

No.	小学校	中学校	調理センター	寄宿舍
①	・三朝小学校の想定不足面積を増築し、既存施設は大規模改修による長寿命化。	・築年数に応じた大規模改修。	・築年数に応じた大規模改修。	・築年数に応じた建替。
②	想定面積 6,208 m ² -既存面積 4,030 m ² =増築面積 2,178 m ² ※	・普通教室棟等の大規模改修実施により、特別教室棟等と同時期での建替。		
③				
④	・三朝小学校を建替。 想定面積 6,208 m ² ※	・令和 12 年から 22 年を目処に小学校との統合(物理的小中連携校)により、不足面積増築を想定。 不足面積 1,667 m ² ※		・三朝小学校新校舎建設に併せ、西小学校寄宿舍及び三朝中学校寄宿舍の同時期建替。
⑤	・三朝中学校との統合(物理的小中連携校)により、一体的に建替。 想定面積 10,733 m ² ※			

※P9の面積より。

シミュレーション①

(千円)

施設名	区分	～R12年 (2030年)	～R22年 (2040年)	～R32年 (2050年)	～R42年 (2060年)	合計
三朝 小学校 6,208 m ²	管理運営	188,049	188,049	188,049	188,049	752,196
	改修	685,100			370,260	1,055,360
	建替	718,740			1,329,900	2,048,640
三朝中学校 5,673 m ²	管理運営	106,130	106,130	106,130	106,130	424,520
	改修	421,090			529,720	950,810
	建替	1,028,280	26,400	707,520	109,890	1,872,090
調理 センター 673 m ²	管理運営	91,690	91,690	91,690	91,690	366,760
	改修		114,410			114,410
	建替					0
西小学校 寄宿舎 475 m ²	管理運営	8,600	8,600	8,600	8,600	34,400
	改修					0
	建替		156,750			156,750
三朝中学校 寄宿舎 335 m ²	管理運営	520	520	520	520	2,080
	改修					0
	建替			110,550		110,550
合計		3,248,199	692,549	1,213,059	2,734,759	7,888,566

シミュレーション②

(千円)

施設名	区分	～R12年 (2030年)	～R22年 (2040年)	～R32年 (2050年)	～R42年 (2060年)	合計
三朝 小学校 6,208 m ²	管理運営	188,049	188,049	188,049	188,049	752,196
	改修	685,100			370,260	1,055,360
	建替	718,740			1,329,900	2,048,640
三朝中学校 5,673 m ²	管理運営	106,130	106,130	106,130	106,130	424,520
	改修	964,410				964,410
	建替				1,872,090	1,872,090
調理 センター 673 m ²	管理運営	91,690	91,690	91,690	91,690	366,760
	改修		114,410			114,410
	建替					0
西小学校 寄宿舎 475 m ²	管理運営	8,600	8,600	8,600	8,600	34,400
	改修					0
	建替		156,750			156,750
三朝中学校 寄宿舎 335 m ²	管理運営	520	520	520	520	2,080
	改修					0
	建替			110,550		110,550
合計		2,763,239	666,149	505,539	3,967,239	7,902,166

シミュレーション③

(千円)

施設名	区分	～R12年 (2030年)	～R22年 (2040年)	～R32年 (2050年)	～R42年 (2060年)	合計
三朝 小学校 6,208 m ²	管理運営	188,049	188,049	188,049	188,049	752,196
	改修				1,055,360	1,055,360
	建替	2,048,640				2,048,640
三朝中学校 5,673 m ²	管理運営	106,130	106,130	106,130	106,130	424,520
	改修	964,410				964,410
	建替				1,872,090	1,872,090
調理 センター 673 m ²	管理運営	91,690	91,690	91,690	91,690	366,760
	改修		114,410			114,410
	建替					0
西小学校 寄宿舎 475 m ²	管理運営	8,600	8,600	8,600	8,600	34,400
	改修				80,750	80,750
	建替	156,750				156,750
三朝中学校 寄宿舎 335 m ²	管理運営	520	520	520	520	2,080
	改修				56,950	56,950
	建替	110,550				110,550
合計		3,675,339	509,399	394,989	3,460,139	8,039,866

シミュレーション④

(千円)

施設名	区分	～R12年 (2030年)	～R22年 (2040年)	～R32年 (2050年)	～R42年 (2060年)	合計
三朝 小中学校 7,875 m ²	管理運営	152,096	192,937	192,937	192,937	730,907
	改修				1,055,360	1,055,360
	建替	2,048,640	451,110			2,499,750
調理 センター 673 m ²	管理運営	91,690	91,690	91,690	91,690	366,760
	改修		114,410			114,410
	建替					0
西小学校 寄宿舎 475 m ²	管理運営	8,600	8,600	8,600	8,600	34,400
	改修				80,750	80,750
	建替	156,750				156,750
三朝中学校 寄宿舎 335 m ²	管理運営	520	520	520	520	2,080
	改修				56,950	56,950
	建替	110,550				110,550
合計		2,568,846	859,267	293,747	1,486,807	5,208,667

シミュレーション⑤

(千円)

施設名	区分	～R12年 (2030年)	～R22年 (2040年)	～R32年 (2050年)	～R42年 (2060年)	合計
三朝 小中学校 10,733 m ²	管理運営	262,958	262,958	262,958	262,958	1,051,832
	改修				1,824,610	1,824,610
	建替	3,541,890				3,541,890
調理 センター 673 m ²	管理運営	91,690	91,690	91,690	91,690	366,760
	改修		114,410			114,410
	建替					0
西小学校 寄宿舎 475 m ²	管理運営	8,600	8,600	8,600	8,600	34,400
	改修				80,750	80,750
	建替	156,750				156,750
三朝中学校 寄宿舎 335 m ²	管理運営	520	520	520	520	2,080
	改修				56,950	56,950
	建替	110,550				110,550
合計		4,172,958	478,178	363,768	2,326,078	7,340,982

(2) 方針とスケジュール

① 実施方針

直近 40 年を想定した各シミュレーションを見ると、比較基準となる既存施設を築年数に応じて更新等を行うシミュレーション①に対し、三朝小学校新校舎建設後、中学校施設を単独で維持するシミュレーション③が最も合計費用が高く、いずれかのタイミングで小中学校を統合し、必要な面積を増築するシミュレーション④が最も合計費用を抑えることができます。

中学校の将来像は現時点で不透明ながら、児童生徒数の推計から今後 10 年で約 360 人程度まで児童生徒数が減少する可能性があることを踏まえ、最も費用を抑えたシミュレーション④を基に、実施方針を以下のとおりとします。

分類	実施方針
小学校	<p>三朝小学校は、以下の点から新校舎を建設する。</p> <p>① 新学習指導要領へ対応した学習環境の整備が必要であり、GIGA スクール構想への対応も求められる。</p> <p>② 総合管理計画における耐用年数を既に経過しており、想定する築 60 年の建替想定時期を今後 10 年以内に迎えるため、改修による想定費用を大きく上回る、かつ、長寿命化の効果が十分に発揮されない恐れがある。</p> <p>③ 増築の場合、既存施設に対する上記②に加え、建設場所が現在地に限定されることから、今後、中学校との一体的な整備、活用の可能性を想定した場合、選択肢が限定的になり不利になる。</p> <p>なお、東小学校及び南小学校については、既に普通財産になっていることから、本計画において具体的な方針は示さないこととする。</p>
中学校	<p>普通教室棟は既に耐用年数を超えているため、建替若しくは長寿命化を図るための大規模改修を行う必要があるが、財政負担を鑑み、小学校施設の整備が完了するまでの間、強靱化の観点から大規模改修を要するトイレ改修を除き、経常的な維持管理により施設維持を図る。</p> <p>また、今後の人口推移と三朝小学校新校舎の活用状況等を注視しつつ、小学校建替以降、特別教室棟の建替想定時期となる 30 年以内を目処に、三朝小学校と同一校舎の利用も含めた運営方法について検討する。</p>
調理センター	<p>今後 20 年を目途に、必要に応じて長寿命化を図るための大規模改修の実施について検討する。</p>
寄宿舍	<p>寄宿舍施設としては既に廃止しており、学童保育施設として三朝小学校新校舎と一体的に整備する。</p>

② スケジュール

①を踏まえた保全・更新の想定スケジュールは以下のとおりとなります。

施設名	～10年	～20年	～30年	～40年	備考
三朝 小学校	建替			大規模改修	
三朝 中学校	大規模改修 (トイレ)	建替※			※小学校との施設統合（物理的小中連携校）を視野に、在り方、運営方法を検討。
調理 センター		大規模改修			
西小学校 寄宿舎	建替			大規模改修	
三朝中学 校寄宿舎	建替			大規模改修	

5 公共施設等マネジメントにより想定される効果

(1) 保有量

計画前（延床面積）	計画後（延床面積）	効果（延床面積）
16,400 m ²	9,358 m ²	▲7,042 m ² (▲42.9%)
主な要因		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校統合による減 (▲5,214 m²) ・ 三朝小学校新築による増 (2,178 m²) ・ 三朝中学校減築（小学校との施設統合）による減 (▲4,006 m²) <p>※ 中学校の減築は想定される最大値であり、人口推移によっては必要最低面積が増加（中学校単独 4,343 m²又は小中合計 10,551 m²）する点に留意すること。</p> <p>※ 学童保育を三朝小学校の空き教室等を活用して実施する場合、西小学校寄宿舎及び中学校寄宿舎に相当する面積を削減できる可能性がある。</p>		

(2) 保全・更新等費用

計画前 シミュレーション①	計画後 シミュレーション④	効果 (40年間)
6,308,610 千円	4,074,520 千円	▲2,234,090 千円 (▲35.4%)
主な要因		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 三朝中学校減築による減 (▲2,371,790 千円) ・ 寄宿舎の改修費の増 (137,700 千円) <p>※ 人口推移によっては中学校面積の増加（中学校単独 4,343 m²又は小中合計 10,551 m²）に併せ、費用も増額する点に留意すること。</p> <p>※ 学童保育を三朝小学校の空き教室等を活用して実施する場合、西小学校寄宿舎及び中学校寄宿舎に係る改修費等の削減が見込まれる。</p>		

(3) 管理運営費等

計画前 シミュレーション①	計画後 シミュレーション④	効果 (40年間)
1,579,956 千円	1,134,147 千円	▲445,809 千円 (▲28.2%)
主な要因		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 三朝中学校減築による減 (▲445,809 千円) <p>※ 照明のLED化、節水トイレへ変更、空調機器等に係る化石燃料を電気へ切り替えること等による増減は、社会情勢による単価の変動が大きいため、ここでは見込まず、既存施設のm²単価のみを元に算出する。</p>		

6 フォローアップ

(1) 実施方針

本計画を着実に推進していくため、以下の PDCA サイクルに基づき継続的に計画の評価・見直しを行います。

